※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版 新編 言語文化」　（数研出版）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧改訂版」（数研出版） 「十訂版読解を大切にする体系古典文法（数研出版） 「必携頻出古文単語３４０＋漢文語彙２１０ダブルスタイル５５０」（尚文出版） 「テーマ別言語文化ベストクリア１」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〈古典分野〉
・予習及び復習を欠かさず行い、文法事項の理解に努めましょう。
・文章の読解を通して、当時の言語や文化を学び、教養を深めましょう。
〈近現代分野〉
・近現代の小説を読み、言葉や表現に込められた作者の思いを読み取り、理解に努めましょう。
・古典分野からの言語や文化の繋がりを学びましょう。

2　学習の到達目標

・国語の知識や技能を身につけ、日本の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文学作品や古典作品の読解を通して、語彙や表現などの知識を身に付けるとともに、文化への理解を深めることができている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	文学作品や古典作品を通して自分の考えを持ち、言葉が持つ価値への認識を深めながら進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文の世界を楽しむ① ［教材］ 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：児と僧の様子や心情を積極的にとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	古文の世界を楽しむ② ［教材］ 『宇治拾遺物語』「検非違使忠明」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	現代にも生きる教え① ［教材］ 『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c： 具体例から自戒を含む主張へとつないでいく展開を積極的に理解しようとしている。また「懈怠の心」について、自分の日常生活と関連づけて考えることができている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	現代にも生きる教え② ［教材］ 『徒然草』「丹波に出雲といふ所あり」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。また、上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から探し出し、理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
二学期	昔と変わらない人の心 ［教材］ 『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」 ズームアップ『伊勢物語』と『源氏物語』 二つの古典物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：登場人物の心情を読み取り、自分なりの考えを持つことができる。また、和歌に込められた心情を粘り強く解釈しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	平安宮廷文学の世界 ［教材］ 『枕草子』 「はしたなきもの」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：粘り強く筆者のものの見方について考え、自分の考えを伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート

※令和４年度以降入学生用

	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 訓読のきまり 格言	a:漢文の訓読や表現を学び、理解している。 b[書]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、身近な経験と比較して意見を書いている。 c:漢文特有の表現や語句について、積極的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	故事と成語 ［教材］ 『戦国策』「虎の威を借る狐」	a: 故事成語の成り立ちや意味について、理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語の種類や用例などについて、積極的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	受け継がれる古文 ［教材］ 『羅生門』 ～比べ読み～『今昔物語集』	a:文章を読み、作者や登場人物の心情を理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
三学期	和歌が作り出す世界 ［教材］ 「新古今和歌集」「百人一首」	a:和歌特有の表現や修辞技法について理解している。また歴史的背景を踏まえて作品を読み、世界観を理解できている。 b[読]:和歌に表れた心情や情景などについて自分の考えをもち、互いに交流することで理解を深めることができる。 c:歴史的背景や和歌の内容、自身の考えをうまく組み合わせながら、和歌に込められた思いを解釈しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	戦乱下の人間像 ［教材］ 『平家物語』「木曽の最期」	a:語句の意味や文章の構成などを通して、軍記物語独特の表現を理解している。 b[読]:義仲と兼平の関係性について本文を踏まえて理解し、両者の違いを対比的捉えることができている。 c:「義仲・兼平の愛情」について粘り強く理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　10　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　75　）時間